

倉田議員

平成23年度の新規事業について

**問** 23年度からスタートする総合計画を踏まえ、来年度の当初予算ではどのような市独自の新規事業を提案しようとしているのかを伺う。

**答** わがまちげんき発展事業が本年度で終了するため新たな取り組みを検討中。これと連携して逸品開発・販路開拓事業、ものづくり技術・研究開発支援事業とのすみわけも明確にしたい。

また新年度からスタートさせる予定の北谷地区地域振興事業等についても具体的な取り組みを図り、全国環境自治体会議に向け市民と一体となったエコ環境都市を目指す事業なども重点的に取り組む。

健康寿命を延ばすことに寄与する施策について

**問** 市民の健康寿命は県平均よりも低く、結果的に要介護期間が他の市町より長いことは問題。健康寿命延伸には運動やコミュニケーションが極めて重要。

①他市ではほとんど設置されているゲートボール等ができる屋内施設（体育館改造や空き機業場

その他の質問  
・軽度の要介護者に対する支援サービスについて

の活用)ができないか。

②市民の健康維持の観点から、市民農園を始めるグループに30万円程度の助成ができないか。

**答** ①既存体育施設の今後のあり方は、現在の利用状況及び新体育館建設後の利用見通しなどを踏まえ、十分検討したい。その中で屋外競技の活用も検討している。空き機業場の活用については、まず空き工場等の現状や利用したい団体等についての調査・研究が必要であると考える。  
②関係課とも連携し調査・研究していきたい。



山内議員

鳥獣害対策について

**問** ①今年度の有害鳥獣駆除の取り組みとその結果について伺う。  
②イノシシ捕獲後の処理に対し支援を考えないか伺う。

③(仮称)食肉センターを奥越地区で設置することについて、その調査や調整の状況を伺う。  
④長期的なクマ対策として、緑の少年団による植樹など市有林で実のなる木の植樹を進めている。今後個人所有の森林でも実のなる木の植樹を広めるために、苗木の無料配布などの支援はできないか伺う。

**答** ①イノシシ対策については、捕獲件数99件、捕獲頭数は、181頭となった。

クマ対策については11月末までに、目撃情報が160件、痕跡情報が79件、捕獲オリ等による捕獲放獣が53件で54頭、そして、捕殺埋設が8件で10頭となり、件数の合計として、300件となっている。

②地元の皆様の負担、猟友会会員の負担を少しでも軽減できるように検討していきたい。

③福井市内1カ所、滋賀県2カ所の獣肉加工所について県奥越農林総合事務所担当者などと共に調査を実施した。今後加工所の位置、市場調査、衛生面でクリアしなければならぬ諸課題など明らかにするためさらなる調査・研究を進めていく。  
④市民所有の森林でも要望がある場合は、広葉樹の植栽ができるよう措置していく。

